

国際開発学会第22回春季大会オンライン・セッション（共通論題）

新型コロナウイルスとこどもの貧困問題 について世界と知識を交流する

日時：2021年6月12日（土）16:50-18:40

新型コロナ感染症拡大以前から、困難な状況に置かれた子どもたちを対象として活動を行ってきた、日本とインドの市民団体のパネリストから、それぞれの団体の設立目的、活動説明、特にコロナ禍における子どもへの支援活動について経験を共有していただきます。

発表者：加賀 大資



団体概要：NPOカタリバ

どんな環境に生まれ育った子どもたちも、未来を自らつくりだす意欲と創造性を育める社会を目指し、2001年から活動してきた教育NPOです。高校への出張授業プログラムから始まり、2011年の東日本大震災以降は子どもたちに学びの場と居場所を提供、2020年にはコロナ禍に伴って困窮した家庭にPCとWi-Fiを無償貸与し学習支援を行う「キックアッププログラム」を開始するなど、社会の変化に応じてさまざまな教育活動に取り組んでいます。

発表者：Ashutosh Nema



団体概要：NGO Bachpan Bachao Andolan

1980年から子どもたちが児童労働の搾取から解放され、質のよい教育を受けられる社会づくりをめざして活動しています。インドの首都ニューデリーに本部事務所を設置して、デリー、ラジャスターン州、ウッタル・プラデシュ州、ビハール州などで活動しています。設立者であるカイラシュ氏は、2014年にノーベル平和賞を受賞しました。

討論者：勝間 靖（早稲田大学教授）

お申込み：下記のアドレスにご連絡ください
お問い合わせ：jasidspring2021plenary@gmail.com

申込み締め切り：2021年6月10日（木）17:00

参加
無料